

美浜町小中一貫校基本構想ワークショップ（第3回） 会議記録

日 時：2022年12月22日（木） 19時～21時

場 所：美浜町役場3階 大会議室

参加者：30名

テーマ：「美浜～こんな学校に通ってみたい！～」

新しく計画する小中一貫校への夢や想いを語ろう！

ねらい：それぞれの学校・学区にある資源（人・活動、もの・場所）を発見するとともに、新たな学校にそれらをどう活かし継承することができるのかについて話し合う

1 挨拶 鈴木賢一先生（名古屋市立大学教授）

- ・本日は「美浜」をテーマにします。
- ・グループは、地区別で行います。
- ・前半は前回のワークショップの振り返りを行い、後半はグループで意見交換します。

2 前回の振り返り

- ・子どもの視点に立って、新しい学校の環境について話し合いました。

（屋外環境）

- ・自然な環境がよい、四季が感じられるとよい
- ・校舎が分散しているとよい、公園の中に学校があるとよい
- ・体を動かせるように、アスレチック、サバイバルマウンテン、400mトラック、バスケットコート、温水プールがあるとよい
- ・動物を飼う、植物を栽培、農園がある

（学習環境）

- ・温度差がない教室、太陽の光、床暖房、開放感のある教室、ガラス張り、オープンスペース、今の倍の広さの教室
- ・地域の人が利用できる特別教室
- ・ICT環境、海外とWeb交流、Wi-Fi環境の充実
- ・音楽が流れている図書室

（生活環境）

- ・トイレ・・・清潔、おしゃれ、音楽が流れている、男女が離れているとよい、複数の出入口がある、LGBTに配慮されている
- ・ランチルーム、廊下、木がいっぱい使われた校舎

3 「そもそも・何のためのワークショップなのか？」を考える

- ・現在、基本構想を策定していくという段階です。
基本構想策定 ⇒ 設計 ⇒ 建設 ⇒ 運営 という流れ
- ・私たちみんなで作った学校という形になるとよい。
- ・従来の形だと行政と設計者が中心で、先生や地域の人には経過を説明する、という形になりがち。そうではなく、みんなでワイワイとワークショップで意見交換をして、みんなで作っていくという形にしたいと考えています。

4 グループワーク

今日のテーマは「美浜」です。歴史を重ねた美浜の小中学校に蓄積された有形無形の宝物を新しい学校に継承したい。それぞれの学校にある資源を発見し、新しい学校にどのように活かしていくことができるかを話し合いたい。

ステップ1：学校や学区の中に、大事にしたい活動はありますか？大事にしたい人はいますか？

ステップ2：学校や学区の中で、大事にしたいモノや場所はありますか？

ステップ3：学校や学区にある宝物を、新しい学校にどう継承することができるのでしょうか？



5 発表

A 布土地区

(宝物)

祭り（山車が3台）、消防団活動、銀杏の木、布土小学校のすばらしい先生
里山、蛍がみえる場所、海が見える海岸線、信号が2つ、時志の初日の出

(残したいもの)

祭の伝承、子どもの育成を続けたい、持続可能な方法を考えたい
近所の付き合いを残していく、学区対抗運動会をやりたい

B 河和地区

(宝物)

田植え（小学2年生）+稲刈り体験、中学校の体育祭の応援合戦、職業体験
祭り、花火大会、歴史のある山車、公園、歴史のある学校

(残したいもの)

学校の授業の中で「美浜の歴史」を扱う（知っている先生が言葉で伝える）

C 河和南部地区

(宝物)

遠足で潮干狩り、スクールガードの見守り、夏祭り、広い運動場、閉校記念の植樹、
神社、矢梨のお祭りの餅まきの変ったやり方

(残したいもの)

自然を大切にする心 小さい学校、餅つき

D 野間地区

(宝物)

歴史に残る人物（源義朝や音吉）、野間大坊、歴史ボランティアガイド（野間小6年生が実施）
史跡巡りハイキング、お祭り、お囃子体験、野間公民館まつり、
砂の造形教室（小学生）+海岸清掃

芋ほり体験、ふぐの実食体験・・・地元を大切にしていきたい

自然・・・海岸、水路（子どもが安心して遊べる環境）

歴史・・・神社、お寺、野間大坊

(残したいもの)

食育・・・子どもだけでなく保護者も参加して、地元との交流を大事に
美浜町の副読本をわかりやすく作成→マンガにしてはどうか？

E 奥田地区

(宝物)

お祭り、山車、伝統、巫女の舞、餅なげ、盆踊り、小学校の行事、山車、神社、奥田小学校

(残したいもの)

海を臨む校舎を作る、職業体験、日本福祉大学との関わり、和太鼓指導

F 上野間地区

(宝物)

海苔、漁業、祭り、山車、裸参り、七度参り、挨拶のできる小学校、ジョイフルファーム鵜の池
美浜きのこらんど、みかん、杉本健吉さんの好んだ風景

(残したいもの)

豊かな自然、農業体験・漁業体験ができる学校に

上野間学区の美しい風景を壁画として残したい、伊勢湾と三河湾が見渡せる展望台がほしい
今やっている活動をしっかりやっていくことで継承につなげたい



5 まとめ（鈴木先生）

- ・宝物は、地域のお祭りだという意見が多かった。
- ・新しい学校で先生方がどのように教育に取り入れてくれるか、楽しみ。
- ・食育、地産地消が今は大事にされている。ランチルームや給食調理場が見える学校も増えている。
- ・残っている大事なものは、地域の宝。「見える化」していくのもよい。
- ・学校の先生は転勤がある。地域のことを一番よく知っているのは地元地域の方々。
- ・新しい学校に、こういった「地域の宝」をつないでいってほしい。

次回は令和5年1月24日（火）19：00から行います。テーマは「地域にとって、学校ってなんだろう」です。

以 上